

資料1 第2次芦屋市文化推進基本計画 新規・拡充検討項目(案) ※ 修正部分に下線

		修正前		修正後(案)	
重点取組項目	施策の方向性	リード文	新規・拡充検討項目	リード文	新規・拡充検討項目
◎【全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進】	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり	<p>市民が文化に対する関心や理解を深めるための普及啓発に関する取組や、市民が文化を鑑賞する機会の充実、また、市民自らが文化活動を行うための機会の充実や情報提供に一層取り組みます。</p> <p><u>文化芸術鑑賞をしたいと思っても、時間がとれない、場所が遠い、育児や介護で出かけられないなどの理由で参加できない人も多いため、地域の公共施設などで、様々な分野の文化芸術を対象としたワークショップの開催などのアウトリーチ活動により、幅広い市民が身近に文化芸術に触れる機会を拡充します。</u></p>	<p>○文化に関する様々な情報提供</p> <p>○アウトリーチ活動(文化芸術を対象としたワークショップの開催など)</p>	<p>市民が文化に対する関心や理解を深めるため、市民まつりや文化施設の運営等により、引き続き文化活動を推進するとともに、市内在住・市内出身の有名アーティストによる講演等をきっかけとした文化活動への機会を創出します。</p> <p><u>また、仕事や育児・介護などの様々な理由により文化活動ができない方も身近に文化を楽しめる環境をつくるため、ICTを活用した文化芸術作品の保管及び公開を図るための仕組みのあり方について検討を行います。</u></p>	<p>○市内在住・市内出身の有名アーティストによる講演等をきっかけとした文化活動への機会の創出</p> <p>○ICTを活用した文化芸術作品の保管・公開の検討</p>
	(2)文化活動を通じた地域のつながりづくり	<p>市内全域で日常的に文化芸術に触れ、親しめる機会の拡充を図るとともに、自ら学んだ成果を発表する場や機会を提供し、「個人の学び」から「仲間づくり」や「学習成果の活用」を通して、社会へ還元し「地域社会の形成」へと発展していく機会を提供することで、「知の循環型社会」を目指した仕組みづくりを進めます。</p> <p><u>また、芦屋ゆかりの文学(ライトノベル等)やメディア芸術作品を生かす取組を検討し、子どもから高齢者まで文化活動を通じて地域がつながる取組を進めます。</u></p>	<p>○「知の循環型社会」を目指した仕組みづくり</p> <p>○芦屋ゆかりの文学やメディア芸術作品を生かす取組</p>	<p>市内全域で日常的に文化芸術に触れ、親しんでもらうために、文化活動を通じた地域のつながりづくりに取り組みます。</p> <p><u>そのためには、自ら学んだ成果を発表する場や機会を提供し、「個人の学び」から「仲間づくり」や「学習成果の活用」を通して、社会へ還元し「地域社会の形成」へと発展していく機会を提供することで、「知の循環型社会」を目指した仕組みづくりを進めます。</u></p> <p><u>また、芦屋での文化活動者の発掘を促進するとともに、文化活動者同士のつながりのきっかけづくりや、文化芸術を通じた社会課題解決の取組など、多様性を増す社会において、文化芸術とまちづくりとの新たな関わり方を可視化する仕組みづくりを検討します。</u></p>	<p>○「知の循環型社会」の推進</p> <p>○文化活動者の発掘、つながりのきっかけを創出</p>

		修正前		修正後（案）	
重点取組項目	施策の方向性	リード文	新規・拡充検討項目	リード文	新規・拡充検討項目
①【全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進】	(3)ユニバーサル社会づくりを目指した生涯学習活動の振興	<p>これまでも地域での生涯学習として文化講座の開催、文化芸術を活用した社会参加の促進や生活の豊かさを育む取組を推進してきましたが、子どもから高齢者まで、また障がいの有無に関わらず、文化芸術を享受し、親しむことで、生活に潤いや豊かさを感じることができるように、更に施策を充実させる必要があります。</p> <p>そのため、様々な分野で誰もが参加しやすい、また参加したいと思える仕組みや環境づくりを推進します。</p>	○誰もが参加しやすい、また参加したいと思える仕組み・環境づくり	<p>病院や福祉関係団体、社会教育関係団体等との連携により、地域での生涯学習として文化講座の開催、文化芸術を活用した社会参加の促進や生活の豊かさを育む取組を引き続き推進します。さらに、子どもから高齢者まで、また、障がいの有無に関わらず、誰もが容易に文化芸術活動に触れられ、表現活動を行うことができる環境づくりを推進するとともに、様々な人が交流できる仕組み・環境づくりを推進します。</p>	○文化芸術を通じて様々な人が交流できる仕組み・環境づくり
	(4)文化ゾーンの活性化、各種施設の有効活用	<p>市民の文化芸術活動が充実するような施設整備、運営を行うため、文化ゾーン(図書館、谷崎潤一郎記念館、美術博物館)の利点を生かし、3館の連携・協力による事業を進めます。</p> <p>また、住宅(店舗)ストックや市の保有施設など様々な場を活用し、市民や民間事業者が主体の企画やイベントを支援するとともに、文化芸術に関するワークショップなどが展開できるような新たな文化芸術活動の場の確保を検討します。</p>	<p>○文化ゾーン(図書館、谷崎潤一郎記念館、美術博物館)の利点を生かした3館連携・協力事業</p> <p>○企画やイベントでの住宅(店舗)ストックや市の保有施設の活用</p>	<p>市民の文化芸術活動が充実するような施設整備、運営を行い、文化ゾーンの活性化、各種施設を有効に活用します。</p> <p>文化ゾーン(図書館、谷崎潤一郎記念館、美術博物館)の利点を生かし、3館の連携・協力により文化活動事業を進めます。</p>	○文化ゾーン(図書館、谷崎潤一郎記念館、美術博物館)の利点を生かした3館連携・協力事業
	(5)文化芸術を行う団体への支援	<p>市民と文化芸術団体の様々な文化芸術活動が活発に行われるよう、国や県の様々な補助金や助成金等についての情報を提供するとともに、本市が実施している文化芸術活動への参画を促し、活動の機会を提供します。</p>	<p>○国や県の様々な補助金・助成金に関する情報提供</p> <p>○文化芸術活動への参画の促進、活動の機会提供</p>	<p>市民の文化芸術活動が活発に行われるよう支援するとともに、行政や財団等の様々な補助金や助成金の制度を発信することにより、文化芸術活動への参画を促し、活動の機会の創出を促進します。</p>	○補助金の活用による文化芸術活動の機会提供の促進

		修正前		修正後（案）	
重点取組項目	施策の方向性	リード文	新規・拡充検討項目	リード文	新規・拡充検討項目
◎【全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進】	(6)文化に関する情報発信の強化	<p>文化芸術団体等と連携しながら、文化芸術活動や文化芸術施設などの情報を収集し、広報紙やホームページなどを通じ積極的な情報提供を行います。</p> <p>また、ソーシャルメディアなどを活用し、本市の文化資源を積極的にPRするほか、大学との連携による若い世代の発想を生かした情報発信を検討します。</p> <p>今後、スマートフォンアプリを活用した市内の文化資源の情報提供など、芦屋の魅力発信について検討します。</p>	<p>○ソーシャルメディアを活用した情報発信</p> <p>○スマートフォンアプリを活用した文化資源の情報提供</p>	<p>市内の文化活動や文化資源を幅広い世代に周知するため、ソーシャルメディアなどを有効に活用します。</p> <p>また、街並みや衣食住などライフスタイルに溶け込んだ芦屋の魅力ある文化や阪神間モダニズム・日本遺産等の歴史的魅力にあふれた文化財群に関する情報発信により、本市の更なる魅力発信に取り組みます。</p>	<p>○ソーシャルメディアを活用した情報発信</p> <p>○阪神間モダニズムや日本遺産等の歴史的魅力にあふれた文化財群に関する情報発信</p>
◎【未来を切り拓く子どもたちに向けた文化政策の推進】	(1)豊かな情操を育む体験活動の推進	<p>子どもたちの豊かな創造性・社会性などを育むとともに、文化芸術の未来の担い手を育成するため、学校や文化施設などで、質の高い音楽や演劇、絵画、伝統文化等、本物の芸術に触れる機会の充実を図ります。</p> <p>また、子どもたちの豊かな心と体を育むため、栽培から収穫、料理を通じた体験学習や、地元シェフと連携した食育事業の実施など、食から広がる様々な取組を推進します。</p>	<p>○食育と連動した体験学習や地元シェフと連携した食育事業など、食から広がる様々な取組</p>	<p>文化芸術を創造し、支える次世代の人材の育成を目的とした豊かな文化芸術教育の充実を図るため、食育や学校図書館の更なる活用を推進するとともに、学校や文化施設などで本物の文化芸術に触れる機会を創出します。</p> <p>また、国際化に伴い増加している外国人児童生徒等の日本語習得を支援することにより、外国人児童生徒等も言葉の不自由さに阻まれずに文化芸術を体験できるように取り組みます。</p>	<p>○中学校における食育の推進</p> <p>○学校図書館の活用</p> <p>○外国人児童生徒等の日本語習得支援</p> <p>○子どもの頃から本物(一流)に出会い・体験する取組</p>

		修正前		修正後（案）	
重点取組項目	施策の方向性	リード文	新規・拡充検討項目	リード文	新規・拡充検討項目
◎【未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進】	(2) 地域社会とのつながりによる文化体験	<p>学校園、家庭、地域が連携し、勉強や運動・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちが心豊かで健やかに育つ居場所や環境づくりを推進します。</p> <p>現在、小学校を利用して、地域の参画も得ながら実施している「あしやキッズスクエア」等において様々な文化体験プログラムを拡充していくことを検討します。</p>	○「あしやキッズスクエア」での様々な文化体験プログラムの拡充	<p>就学前教育・保育施設、学校、家庭、地域が連携し、勉強や運動・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会とつながりながら文化を体験できるように取り組めます。</p> <p>そのためには、現在、小学校を利用して、地域の参画も得ながら実施している「あしやキッズスクエア」等において様々な文化体験プログラムを拡充し、地域への愛着や誇りを育み交流を促進する機会の創出に取り組めます。</p>	○地域への愛着や誇りを育み交流を促進する機会の創出
	(3) 親子に向けた積極的な情報発信	文化芸術のすそ野を広げるため、特に子どもの頃から本物の文化芸術に親しめるよう、様々な媒体を使い親子に向けた情報提供に取り組めます。	○様々な媒体を活用した親子向けへの情報発信	<p>文化芸術のすそ野を広げるため、親子に向けて積極的に情報を発信します。</p> <p>そのためには、特に子どもの頃から文化芸術に親しめるよう、アプリやホームページ等を活用し、親子に向けた情報提供に取り組めます。</p>	○アプリやホームページ等を活用した情報発信
◎【芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり】	(1) 暮らしに根ざした文化交流のまちづくり	本市には、芦屋ゆかりの歴史的資産や自然、近代建築など、多くの文化資源があります。こうした芦屋ならではの魅力を生かすとともに、国際理解を深める取組など多様な文化を持つ人との交流を促進し、本市の文化芸術発信力の強化に向けた事業を検討します。	○国際理解を深める取組など多様な文化を持つ人との交流促進	<p>本市には、芦屋ゆかりの歴史的資産や自然、近代建築など、多くの文化資源があり、こうした芦屋の暮らしに根ざした文化交流のあるまちづくりに取り組めます。</p> <p>これらの文化資源を在住外国人のかたにも伝えるため、ICT等を活用した多言語翻訳や職員が「やさしい日本語」を心掛けることで、市内における文化芸術活動を広く発信し、交流機会を創出します。</p>	○多言語への翻訳や「やさしい日本語」による情報発信による交流機会の創出

		修正前		修正後（案）	
重点取組項目	施策の方向性	リード文	新規・拡充検討項目	リード文	新規・拡充検討項目
◎【芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり	(2) 芦屋らしい良好な住まい・景観づくり	<p>様々な文化資源を有効活用した<u>まちづくりの推進に加え、優れた景観の保全・育成を行います。</u></p> <p>また、公園と周辺の地域や店舗などが連携した庭園都市ならではの<u>一体的なまちづくりを進め、都会の中でも自然と触れあい、安らぎが感じられる、市民の誇りとなる芦屋の魅力の醸成を図ります。</u></p>	○公園と周辺地域や店舗が連携した庭園都市ならではの <u>一体的なまちづくり</u>	<p>様々な文化資源を有効活用し、<u>芦屋らしい良好な住まい・景観づくりに取り組むとともに、周辺の地域や店舗などが連携し、地域に応じた公園の利活用を推進した庭園都市ならではの一体的なまちづくりを進め、都会の中でも自然と触れあい、安らぎが感じられる、市民の誇りとなる芦屋の魅力の醸成を図ります。</u></p>	○周辺地域や店舗等が連携し、 <u>地域に応じた公園の利活用</u>
	(3) 読書のまちづくりの推進	<p>市民が本に親しみ、楽しめるよう、<u>図書館（図書室等を含む。）の利用を促進するとともに、講演会やレクリエーションの場を提供するなど、社会教育施設としての機能強化を図ります。</u></p> <p>また、<u>読書のまちづくりを通して、誰もがいつでも読書に親しみ、心豊かに暮らすことができる環境の整備を目指します。</u></p>	<p>○図書館での講演会やレクリエーションなど、<u>社会教育施設としての機能を強化</u></p> <p>○読書に親しむことができる環境の整備</p>	<p><u>子ども向けのイベント等だけでなく、大人をターゲットとした企画を実施することで、より一層幅広い市民が本に親しみ、楽しめる取組を推進します。</u></p> <p>また、<u>ICTの活用によって日頃図書館等に赴くことのできない市民も読書に親しみ、心豊かに暮らすことのできる環境の整備に取り組めます。</u></p>	<p>○地域・学校園等との連携</p> <p>○大人も子供も楽しめるレクリエーションの実施</p> <p>○ICT等の活用など読書に親しむことができる環境の整備</p>

		修正前		修正後（案）	
重点取組項目	施策の方向性	リード文	新規・拡充検討項目	リード文	新規・拡充検討項目
◎【芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり	(4)文化を通じたまちの魅力の一体的な発信	<p>本市は、北に六甲山の山並みと、南に大阪湾を臨む豊かな自然に恵まれており、市内には有名なスイーツやパンなどの洗練された店舗も多く、それらが住宅と調和した品格のあるまちなみを形成しています。</p> <p>本市の魅力的な地域資源を最大限に生かすために、民間活力によるプロデュースを検討し、積極的なシティプロモーションに取り組めます。</p> <p>また、効果的な魅力発信のため、近隣市や大学等との連携に取り組むとともに、まちづくり、教育、観光等との連携を強化します。</p>	<p>○民間活力によるプロデュースを含めたシティプロモーションの推進</p> <p>○魅力発信における近隣市や大学などとの連携</p> <p>○まちづくり、教育、観光等との連携</p>	<p>本市は、北に六甲山の山並みと、南に大阪湾を臨む豊かな自然に恵まれており、市内には洗練された店舗も多く、それらが住宅と調和した品格のあるまちなみを形成しているため、文化を通じたまちの魅力を一体的に発信します。</p> <p>本市の魅力的な地域資源を最大限に生かすため、近隣市や学校などと連携し、さまざまなメディアを通じた地域の魅力の発信をします。</p>	<p>○さまざまなメディアを通じた地域の魅力発信</p> <p>○魅力発信における近隣市や学校などとの連携</p>